

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的
日産健保は日産グループの社員とご家族、そして事業主の皆さまをサポートする組織として、”日産健保_みんなの健康応援団”というVISIONを掲げ、「一人一人の健康長寿」を目指す。

事業全体の目標
永続的な健康保険の維持を念頭に「スリムで効率的な事業運営」を行う。

事業の一覧

職場環境の整備	
保健指導宣伝	共同システム
疾病予防	事業所けんこうレポート
疾病予防	事業所コラボ活動
疾病予防	健康経営支援活動
予算措置なし	事業主の会議体への参加
予算措置なし	予防接種の実施

加入者への意識づけ	
特定健康診査事業	健診結果の自宅送付（けんこう宅配便）
保健指導宣伝	健康ポータル（pep up)の利用促進
保健指導宣伝	健康作りインセンティブ制度
保健指導宣伝	前期高齢者の健康作り支援（健康かわら版）
保健指導宣伝	機関誌発行（けんぼニュース）
保健指導宣伝	健保の情報提供
疾病予防	若年層の健康増進活動
疾病予防	柔整適正化活動
疾病予防	不適切な受診者へ照会案内送付
疾病予防	セルフメディケーションの推進
疾病予防	医療費削減プロジェクト__前期高齢者対策（ときめき）
予算措置なし	退職に伴うセミナー

個別の事業	
特定健康診査事業	特定健診（被保険者）
特定健康診査事業	特定健診（被扶養者）
特定健康診査事業	家族の未健診者フォロー（被扶養者）
特定保健指導事業	特定保健指導（被保険者）
特定保健指導事業	特定保健指導（被扶養者）
特定保健指導事業	健診時同時初回面談の推進（特定保健指導）
特定保健指導事業	講演会やセミナー開催
保健指導宣伝	育児支援
保健指導宣伝	データヘルス計画推進システムの構築
疾病予防	禁煙活動（２）ノンスモ
疾病予防	保健指導（糖尿病重症化防止活動__診療所）
疾病予防	生活習慣病健診
疾病予防	新：郵送健診
疾病予防	ドック健診
疾病予防	がん検診（職場）
疾病予防	３３歳人間ドックの無料化
疾病予防	がん精検受診率
疾病予防	歯科健診の促進
疾病予防	禁煙活動
疾病予防	50歳以上への健康増進活動
疾病予防	電話相談（健康相談＆メンタル相談）
疾病予防	ジェネリックの利用促進
疾病予防	健康相談（クリンタル）
疾病予防	ポリファーマシー対策
疾病予防	重症化予防
疾病予防	データの有効活用
疾病予防	新：医科歯科連携の包括的な健康づくり実現に向けた口腔ケアの現状把握と促進に関する事業（共同事業）
疾病予防	新：子どもを通して家族の健康と生活習慣改善を見直す保健事業（共同事業）
疾病予防	新：抗菌薬の適正服薬の啓発
疾病予防	新：オンライン女性の健康課題教室（共同事業）
疾病予防	新：オンライン介護教室（共同事業）
体育奨励	健康作り支援（スポーツジム契約）
体育奨励	オンラインジム
直営保養所	福利厚生（直営保養所・外部リゾート施設契約）
その他	安心して治療に専念できる環境づくり（付加給付の充実）
予算措置なし	利用者の満足度向上（３事業）
予算措置なし	新：メンタル不調者の低減（３者ワンチーム活動）

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	注2) 事業名	対象者			注3) 実施 主体	注4) プロセス 分類	実施方法	注5) ストラク チャー 分類	実施体制	外部委託先	予算額 (千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連	
				対象 事業所	性別	年齢											対象者
アウトプット指標														アウトカム指標			
保健指導 宣伝	1	既存	共同システム	全て	男女	18 ～ 74	基準該 当者	1	イ,カ,ク	健診データは、随時取り込みを行い、月次 締めで抽出する。国への報告は年次処理。	カ	診療所・関連企業・ 家族の健診データ を取り込むため、分担 して入力している	登録されていないサ ービスを利用する	2,600	システムの導入により健診結果の階層化および特定保健指導の判定が容易になるうえレセプト管理 システムとの連携で他健保情報も入手できる	【目標】健診後に結果のお知らせ（PepUp 閲覧、けんこう宅配便）発行までをスピー ディーに行うために、健診データの取り込 みと抽出を計画通り行い保健指導までつな げていく。	該当なし
	健診結果の抽出(【実績値】10回　【目標値】令和6年度：10回)データ取り込みと掃き出しは計画通り行う。													なし (アウトカムは設定されていません)			
疾病 予防	1	既存	事業所けんこ うレポート	全て	男女	0 ～ (上 限 なし)	加入者 全員	1	イ,キ,ケ,シ	事業所担当者へ送付しレポートからの健康 課題を理解してもらう	ア,イ	各事業所の保健事業 担当者が窓口だが、 健康課題を解決でき るステークホルダー に共有（活用）し てもらう体制作りが 必要	株式会社JMDC	1,500	【目的】事業所ごとの健康課題を理解してもらう 【概要】事業所の健康管理課や総務＆人事（保健事業担当者）に健診結果や医療費分析を見える化 した事業所レポートを用いて現状把握や今後の課題を示し将来的には健康経営に導く（活用実績あ り）。令和1年から健康経営を推進し、レポートを用いて課題解決の方策へ繋げる。R5年度に利用 者アンケートを実施して活用状況を調査し要望などを反映してプログラム改修を行う。	事業所の健康課題の解決に利用していただ くよう、健康経営を含めた支援ツールとし て活用してもらう	生活習慣病の予防と重症化の予防
	レポートを活用している事業所数(【実績値】30件　【目標値】令和6年度：30件)活用している事業所にアンケートを実施し活用状況を調査する。													優良認定企業所属者割合(【実績値】91.1％　【目標値】令和6年度：91.1%)優良認定を受けた企業に属する人が健保全体の何パーセントか？　BP：90%、TH：75%			
	-													肥満率(【実績値】30.8％　【目標値】令和6年度：30.0%)第3期データヘルス計画指標　中計項目：3．生活習慣病の対策を強化			
	-													適正体重者率(【実績値】63.0％　【目標値】令和6年度：63.0%)第3期データヘルス計画指標　中計項目：3．生活習慣病の対策を強化			
	-													有所見率(【実績値】38.3％　【目標値】令和6年度：38.0%)第3期データヘルス計画指標　中計項目：3．生活習慣病の対策を強化			
	1	既存	事業所コラボ 活動	全て	男女	0 ～ (上 限 なし)	被保険 者	3	エ,オ,キ,ク ,ケ,サ	①日産および日産九州は各診療所が母体企 業と連携しコラボ企画の計画・立案・効果 検証までを必須とする ②日産および日産九州以外の関連企業はコ ラボ企画書の計画・立案をサポートし効果 検証までを必須とする	ア,イ,ウ,コ	①日産および日産九州は診療所・主管部 部署と活動内容につ いて話し合い、連携 しながら活動を計画 ・実施する。健保推 進室よりコラボ企画 書の提出を促し費用 補助を行う。 ②日産および日産九州以外の関連企業は 健保事業部よりコラ ボ企画書の提出を促 し費用補助を行う。	未定	6,000	【目的】事業所と協働で健康づくり活動をする ことで、より効果の高い保健事業を行う 【概要】①毎月診療所と事業所主幹部署との 話し合いの場を設け活動の計画や評価を行 う。 ②日産および日産九州以外の関連企業は、 各事業所の健康づくり担当者に企画のサポ ートを行い効果的なイベント策定を狙う	【目標】①各診療所全体での健康活動実施 率 ②コラボ活動事業所数（予算内計画実施率）	健康意識の向上・生活習慣改善
	日産診療所の健康イベント計画数(【実績値】123件　【目標値】令和6年度：123件)①事業所コラボイベント件数													なし (アウトカムは設定されていません)			
	コラボ参画事業所数(【実績値】32件　【目標値】令和6年度：32件)②コラボ参画事業所数（予算内計画実施率）：計画事業所数（FY23実績）													-			
	1	既存	健康経営支援 活動	一部の 事業所	男女	0 ～ (上 限 なし)	その他	3	ス	健康経営について意識確認し、調査票の作 成をサポートする専門業者を健保予算で担 う	ア	事業所のステークフ ォルダーが健康経営 の必要性を認識し、 活動はトップダウン で実施することが必 須	登録されていないサ ービスを利用する	9,000	【目的】健康経営という概念を理解して会社 が従業員の健康をサポートする体制を整え る 【概要】企業に健康経営宣言を促すために 健保が健康経営の参画についてサポートし、 健康経営申請は、申請に必要なノウハウを 支援する専門業者を派遣する。	【目標】健康経営新規申請書提出企業数 BP:プラス4事業所　TH:プラス1事業所	生活のQOLの向上
	健康経営新規申請書の提出企業数(【実績値】-　【目標値】令和6年度：4社)健康経営新規申請書提出企業数　BP:プラス4事業所　TH:プラス1事業所													優良認定企業所属者割合(【実績値】91.1％　【目標値】令和6年度：90%)優良認定を受けた企業に属する人が健保全体の何パーセントか？　BP：90%、TH：75%			
-													Well Being運動(【実績値】32.1％　【目標値】令和6年度：31.0%)第3期データヘルス計画指標　中計項目：11．本人・家族のWell　Beingに貢献				
-													Well Being運動(【実績値】53.6％　【目標値】令和6年度：56.5%)第3期データヘルス計画指標　中計項目：11．本人・家族のWell　Beingに貢献				
-													Well Being運動(【実績値】63.8％　【目標値】令和6年度：70.0%)第3期データヘルス計画指標　中計項目：11．本人・家族のWell　Beingに貢献				
予算 措 置 なし	1	既存	事業主の会議 体への参加	全て	男女	18 ～ 64	被保険 者	3	ケ,シ	①健康経営推進会議 ②健康経営企画会議 ③統括産業医と日産健康管理部定例会議 ④産業医会議（日産健康管理部・健保事務 局） ⑤随時会議 ⑥関連会社人事役員会議 ⑦日産グループ健康経営推進会議	ア,イ,ウ	定例会ではメンバー 登録、不定期会には 情報を入手する必要 がある	未定	0	①健康経営推進会議 ②健康経営企画会議 ③統括産業医と日産健康管理部定例会議 ④産業医会議（日産健康管理部・健保事務 局） ⑤随時会議 ⑥関連会社人事役員会議 ⑦日産グループ健康経営推進会議 ①～④　1回/月 ⑤随時　目的共有・報告の場を設け健康 経営に向けた活動を円滑に行えるようにす る。	組合員の健康づくりを協働して行うため の協力を求めたい。定期会議には参加し、 事業への理解を深めたい。	該当なし
	定例会への参加(【実績値】12回　【目標値】令和6年度：12回)①～④は定例会に健保職制が毎月参加する。													なし (アウトカムは設定されていません)			
	会議体への参加(【実績値】1回　【目標値】令和6年度：1回)⑥は課題を提出し、理解または協力を仰ぐ。													-			
事業所担当者との情報交換会(【実績値】2回　【目標値】令和6年度：2回)⑦は日産自動車健康管理室が主体となり健康経営を推進している事業所が参画し、安全管理室や健康管理室の保健師または総務人事課などの事業所健康経営担当者が健康経営推進のための情報交換をする													-				

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	注2) 事業名	対象者				注3) 実施主体	注4) プロセス分類	実施方法	注5) ストラクチャー 分類	実施体制	外部委託先	予算額 (千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢	対象者											
アウトプット指標															アウトカム指標			
	1,3	既存	予防接種の実施	母体企業	男女	18 ～ (上限なし)	被保険者,その他	3	ケ	インフルエンザ予防接種は希望者のみ診療所で接種できる	ア,イ,コ	診療所ごとに実施	未定	0	年1回 今年度実施しない理由：日産診療所で実施しなかった。	1回／年	該当なし	
	実施計画(【実績値】1回　【目標値】令和6年度：1回)各診療所で計画実施率1 0 0 %													なし (アウトカムは設定されていません)				
加入者への意識づけ																		
特定健康診査事業	2,3,4,5	既存	健診結果の自宅送付（けんこう宅配便）	全て	男女	40 ～ 74	基準該当者	1	ア,オ	健診実施者へ3か年の健診結果をグラフ化し、健康年齢表示などの情報提供を自宅へ送付。（PepUp登録者を除く）内製で作成している。	シ	40歳以上、特定健診の結果をもとに共同システムから健診データを出力し、データ加工したうえで、配送は外注化している。	未定	5,000	【目的】生活習慣改善への動機づけを図る。健康年齢と実年齢との差を表示することで、健康行動変容へつなげる。 【概要】健診実施者へ3か年の健診結果をグラフ化し、自宅へ送付。（PepUp登録者を除く）	発行回数　2回／年	健康意識の向上・生活習慣改善	
	送付回数(【実績値】2回　【目標値】令和6年度：2回)2回／年													健康年齢若さ率(【実績値】69%　【目標値】令和6年度：69%)JMDCの健康年齢において、実年齢より健康年齢が若い人の割合を示す。				
保健指導宣伝	2,5	既存	健康ポータル(pep up)の利用促進	全て	男女	18 ～ (上限なし)	被保険者,被扶養者,基準該当者,任意継続者	3	ア,イ,ウ,エ,ケ	①PHRを利用し健康リテラシーの向上を図る。 ②Pep内でイベントを開催し活用率を図る。年間計画しているイベントへの参加率を測定する。	ア,イ,カ,ケ	年間計画や告知を工夫し事業所への協力を促進する。また、被扶養者にも参加促進をする。	株式会社JMDC	10,000	【目的】健康意識を高め、インセンティブを付与し、継続した健康活動へつなげる。 【概要】ICTの活用により健保からの情報提供も容易に行える仕組みの基盤づくりとする。 日産及び日産九州は診療所、日産及び日産九州以外の関連企業は事業所担当者の協力を促進する。	【目標】登録率：毎月事業所ごとの比較グラフを用いて事業所展開を行う。 統合率：イベント（年間5回）の参加率を測定する。日産本人BP:30.0%以上・関係会社本人　25.0%以上、家族　23%以上	健康意識の向上・生活習慣改善	
	活用率(【実績値】40.1%　【目標値】令和6年度：34%)日産本人　活用率　BP:30.0%、TH:23.0%													なし (アウトカムは設定されていません)				
	活用率(【実績値】27.1%　【目標値】令和6年度：24%)関係会社本人　活用率　BP:25.0%、TH:18.0%													-				
	活用率(【実績値】24.0%　【目標値】令和6年度：21%)家族　活用率　BP:23.0%、TH:16.0%													-				
	総合率(【実績値】26.2%　【目標値】令和6年度：27.6%)第3期データヘルス計画指標　中計項目：7. 健康リテラシーを向上　日産本人													-				
	総合率(【実績値】22.4%　【目標値】令和6年度：20.3%)第3期データヘルス計画指標　中計項目：7. 健康リテラシーを向上　関連本人													-				
	総合率(【実績値】11.4%　【目標値】令和6年度：12.0%)第3期データヘルス計画指標　中計項目：7. 健康リテラシーを向上　家族													-				
	2,3,4,5	既存	健康作りインセンティブ制度	全て	男女	18 ～ (上限なし)	被保険者,被扶養者,任意継続者	1	ア,エ,キ,シ	内製で作成している。	ア,イ,ケ	PepUp利用者は活動実績をインセンティブに変換できる。	株式会社JMDC	340,100	【目的】生活習慣改善への意識向上 【概要】PepUpを用いてインセンティブを付与する。 ①1年間医療費が0のもの②健康年齢改善③健診結果改善④非喫煙者⑤人間ドッグ、歯科検診受診⑥スポーツジム利用⑦保養所利用 ⑧Pepイベント参加⑨事業所単位健康づくり活動への付与	【目標】　各担当がタイムリーに集計し、合算pointを付与する。①年間1回、②,③,④健診結果後、⑤受診後集計、⑥,⑦都度利用後、⑧,⑨活動実施後	健康意識の向上・生活習慣改善	
	ポイント付与計画実施率(【実績値】100%　【目標値】令和6年度：100%)◆毎月発行　1 2 回／年◆													健康年齢若さ率(【実績値】63%　【目標値】令和6年度：69%)健康年齢若さ率：全体　BP:69.0%、TH:66.0%				
	-													健康年齢若さ率(【実績値】65.8%　【目標値】令和6年度：69%)健康年齢若さ率：日産本人　BP:69.0%、TH:66.0%				
	-													健康年齢若さ率(【実績値】59.3%　【目標値】令和6年度：69%)健康年齢若さ率：関係会社本人　BP:69.0%、TH:66.0%				
	-													健康年齢若さ率(【実績値】60.0%　【目標値】令和6年度：69%)健康年齢若さ率：家族　BP:69.0%、TH:66.0%				
	2,3,5	既存	前期高齢者の健康作り支援（健康かわら版）*	全て	男女	60 ～ 64	基準該当者	1	ス	2回／年　自宅送付 見やすく読みやすい記事づくりで情報提供し、けんぽ情報も織り込む	シ	社会保険に強い業者に業務委託し、けんこう記事を年間計画に基づいて発行し、自宅配布を行う。	株式会社 社会保険研究所	4,300	【目的】健康作りの情報提供により生活習慣改善への取り組みに繋げる 【概要】①健康作り情報や生活習慣改善の取り組みを2回／年を自宅へ送付 60－64の家族のいる世帯へ1冊 ②診療所・健診ホール・保養所でも読み物として設置	2回／年発行	性差や年齢による健康課題	
計画実施率(【実績値】75%　【目標値】令和6年度：75%)計画実施率 年間2回発行													前期高齢者一人当たり総医療費(【実績値】339,754円　【目標値】令和6年度：339,754円)前期高齢者一人当たり医療費　前年度実績以下					
-													加入者一人当たり医療費(【実績値】179,340円　【目標値】令和6年度：184,720円)加入者/総医療費　月報報告値　目標値FY23×103%					
	2	既存	機関誌発行（けんぽニュース）	全て	男女	0 ～ (上限なし)	加入者全員	1	ス	2回／年、PDFで発行。事業所担当者ヘイントラ掲載を依頼	ア	事業主メールにて事業所担当者ヘイントラ掲載のお願いと周知を依頼する。加入者にはPepUp（ポータルサイト）にてお知らせをする。ホームページにも掲載	登録されていないサービスを利用する	700	【目的】健保情報の周知や健診受診（家族健診・がん検診）、医療費適正化に繋げる。 【概要】健保サービス情報、健康づくり情報、事業紹介、予算決算などを掲載(16P) し、全てWebのみ提供。	【目標】2回／年発行	健康意識の向上・生活習慣改善	
	計画実施率(【実績値】100%　【目標値】令和6年度：100%)計画実施率													なし (アウトカムは設定されていません)				

予算 科目	注1) 事業 分類	新規 既存	注2) 事業名	対象者			注3) 実施 主体	注4) プロセス 分類	実施方法	注5) ストラク チャー 分類	実施体制	外部委託先	予算額 (千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連		
				対象 事業所	性別	年 齢												
																	対象者	
アウトプット指標														アウトカム指標				
	2,5	既存	健保の情報提供	全て	男女	0 ～ (上 限 なし)	加入者 全員	1	ス	①メルマガ登録者数管理 (委員会として活動) ②社内イントラへの情報提供 ③ホームページの運営	シ	①委員会組織を持つ て運営する ②協力体制づくりを 行う ③新ホームページの 運営基準により各Gで 対応する	株式会社 法研	1,650	【目的】タイムリーな情報提供を行いサービス向上と健保活動の認知を深める。 【概要】①メルマガ ②社内イントラへの情報提供 ③HPの運営	【目的】タイムリーな情報提供を行いサー ビス向上と健保活動の認知を深める。 【概要】①メルマガ メールマガジン配信 をPepUp配信に切り替える。 ②社内イントラへの情報提供 ③新HPの運営	健康意識の向上・生活習慣改善	
メルマガクリック割合(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：10%)①メルマガ送付者で、メルマガ開封したもののうち、メルマガ記事をクリックした者の割合 配信回数の 平均値														なし (アウトカムは設定されていません)				
ホームページ閲覧件数/月(【実績値】 22,288件 【目標値】 令和6年度：22,288件)ホームページ閲覧件数 20000/月 (FY23 22288件/年)														-				
疾 病 予 防	5	既存	若年層の健康増進活動	全て	男女	18 ～ 39	被保険 者	1	エ,キ,ク,ケ ,サ	ēラーニングを作成し若年層に健康教育を行 う。各地区毎に行っていた保健指導と統一 プログラム化し、全地区共通の内容で若年 層に向けた健康増進活動を実施し、3か月 後、6か月後にアンケート評価を行う。	ア,イ,ク	事業主との連携の他 、診療所間での連携 を行う。	未定	15,000	日産診療所のスタッフ（専門職）がプロジェクトチームを作り、健康情報のēラーニングを作成す る。40歳以下の若年層のヘルスリテラシーの向上を狙い社内イントラのēラーニングシステムにUP し、ēラーニングを実施。ēラーニング対応できない対象者に対しても職場でのDVD等による教育を 実施した。	計画実施率 教育の実施とフォロー、後日 アンケート回収を行う BP:99%、TH:95%	性差や年齢による健康課題	
	計画実施率(【実績値】 99% 【目標値】 令和6年度：99%)-														40歳時点の特保者率(【実績値】 22.2% 【目標値】 令和6年度：22.2%)第3期データヘルス計画指標 中計項目：5. 若年層（40歳未満）の健康増進活動を強化			
	2	既存	柔整適正化活 動	全て	男女	0 ～ (上 限 なし)	加入者 全員	1	イ,ク,ス	受診状況や保険給付金額の進捗を確認しな がら柔整を利用されている方へ柔整のかか り方について啓発する	シ	委託業者を活用し初 検者へのチラシ送付 や年度計画に基づく 柔整版医療費通知を 発行する	登録されていないサ ービスを利用する	3,000	年度計画に基づき、初検者へのチラシ送付や柔整版医療費通知を発行する。	医療費適正化活動 ①柔整初検者チラシ送付（各月1回） ②柔整版医療費通知の送付_年1回	該当なし	
	柔整医療費適正化活動(【実績値】 1回 【目標値】 令和6年度：1回)) 柔整版医療費通知 1回/年														なし (アウトカムは設定されていません)			
	柔整受療にかかる適正化活動①(【実績値】 100% 【目標値】 令和6年度：100%)初回受診時に適正受診チラシを送付（月次で対象者を選定し送付する）活動実施率														-			
	2,3	既存	不適切な受診 者へ照会案内 送付	全て	男女	0 ～ (上 限 なし)	基準該 当者	1	イ,ク	時間外受診者へ啓発用シーラーハガキを送 付し注意喚起を行う。 改善活動後のレセプト全件数に対する時間 外受診レセプト件数の割合の合計の推移に ついて月次報告する。	シ	目標値を定め、月次 報告会で進捗の報告 を行う。	株式会社エム・エイ チ・アイ	2,314	計画的な啓発活動を行うために、レセプト全件数に対する時間外受診有レセプト割合をマイルスト ーンを引いて月次で設定し、報告会議にて進捗管理を行う。	【目的】不適切な受診行動を抑制し医療費 の適正化を図る 【概要】時間外受診している患者へR6/9 月に啓発用シーラーハガキを送付する 【目標値】マイルストーン BP:3.06%以下	該当なし	
計画実施率(【実績値】 100% 【目標値】 令和6年度：100%)不適切受診の改善活動（啓発用シーラーハガキの送付【年1回】）（令和5年度：9/29実施 2,513件 【達 成度】100%/100%）														なし (アウトカムは設定されていません)				
月次報告(【実績値】 11回 【目標値】 令和6年度：11回)月次報告：令和5年度11回/11回														-				
対象者率(【実績値】 3.06% 【目標値】 令和6年度：3.06%)【計画値/実績値】 令和5年度 BP:3.1%/ TH:3.5%														-				
2	既存	セルフメディ ケーションの 推進	全て	男女	0 ～ (上 限 なし)	加入者 全員	1	キ,ク	セルフメディケーションの利用推進を目的 とし、様々な機会を活用した周知・広報の 実施	シ	アレルギー疾患（花 粉症）でOTC医薬品 にスイッチできる対 象者を抽出し個別通 知を発送	ホワイトヘルスケア 株式会社	6,300	セルフメディケーションについて広く広報を行う。また、メルマガや個別勧奨通知にクーポン券を 付与し、利用促進の動機付けをする	広報活動 年8回以上実施 【計画値/実績値】 令和6年度 8回/8回 （メルマガ配信5回、かわら版発行1回、 けんぽニュース掲載1回、個別勧奨通知発 送1回	該当なし		
計画実施率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：100%)セルフメディケーションの利用促進を目的とした後方計画の完了														なし (アウトカムは設定されていません)				
5	既存	医療費削減プ ロジェクト― 前期高齢者対 策（ときめき ）	全て	男女	65 ～ 74	基準該 当者	1	ア,オ	①重症化防止対策（中計・医療費推移等） ②個別のフィードバックシート「ときめき 」発行 ②ときめきの発行を外注化する	キ,ケ	①進捗管理 月次報 告 ②ときめき発行 ③ときめきの発行を 外注化する。	株式会社 社会保険研 究所	3,200	【目的】重症化を予知・予防し、入院や高額療養者の抑制をする 【概要】①中計：前期高齢者医療費など適宜分析を行う。 ②FY23の健診結果をもとに「ときめき」を発行する。 ③ときめきの発行を外注化する	65歳以上を対象に健診受診勧奨、重症化防 止を強化するため重点課題として取り組む 。	性差や年齢による健康課題		
前期高齢者対策活動計画実施率(【実績値】 1回 【目標値】 令和6年度：1回)ときめき発行 1回以上														前期高齢者一人当たり総医療費(【実績値】 339,754円 【目標値】 令和6年度：339,754円)前期高齢者一人当たり医療費 前年度実績以下				
-														適正体重者率(【実績値】 63% 【目標値】 令和6年度：63%)第3期データヘルス計画指標 中計項目：8. 40歳以上の健康増進活動を推進、高齢者の増加に対応				
-														有所見率(【実績値】 38.3% 【目標値】 令和6年度：38%)第3期データヘルス計画指標 中計項目：8. 40歳以上の健康増進活動を推進、高齢者の増加に対応				
予算 措 置 なし	1,2,5	既存	退職に伴うセ ミナー	母体企 業	男女	18 ～ (上 限 なし)	定年退 職予定 者	2	ス	退職後も健康に留意するよう情報提供を行 う	ア	退職セミナーで健保 案内を配布する。	未定	0	【目的】退職後も健康に留意するよう情報提供を行う 【概要】退職セミナーで事業主が主体的に作成し、健保で内容確認した健保案内を配布してもら う	1回／退職時	該当なし	

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	注2) 事業名	対象者			注3) 実施主体	注4) プロセス分類	実施方法	注5) ストラクチャー 分類	実施体制	外部委託先	予算額 (千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢											
																	対象者
アウトプット指標														アウトカム指標			
けんぽ案内送付(【実績値】 1回　【目標値】 令和6年度：1回)全事業所で退職時セミナーに健保案内が配布できるよう、母体企業の人事と調整している														なし (アウトカムは設定されていません)			
個別の事業																	
特定健康診査事業	3	既存 (法定)	特定健診（被保険者）	全て	男女	40～74	被保険者	3	イ,オ,カ,ケ,シ	①日産及び日産九州の従業員の特定健診実施方法 ・事業主側への協力依頼（安全衛生委員会にて未受診者状況を報告、上司経由にて未健診者をフォローする。TQM報告で毎月状況を報告） ・受診票にも期日内に受診を促すメッセージを入れる ・誕生月健診のため、各月の対象者ヘリストを職場上司へ渡し健診受診者を把握してもらう など ②日産及び日産九州以外の従業員は本部が事業所担当者と連携しフォローしている。年度始めに健診日程を調査し受診率を追っている	ア,イ,オ,カ,ケ,コ	①日産及び日産九州従業員は診療所で医療職含めたスタッフが健診実績を把握しており、事業主との連携体制の構築を行っている。 ②日産以外は本部（事業部）で管理している	登録されていないサービスを利用する	100	【目的】 特定健診による生活習慣病リスク判断 【概要】 適用条件で分けた目標設定で管理する 全体目標値：BP:84%、TH:80% ①日産/本人　BP:95%、TH:93% ②関連/本人　BP:95%、TH:92% ③家族　BP:56.5%、TH:52.5% ※予算計上は健診データのXMLデータ化費用のみ	特定健診受診率80%を目標とする。被扶養者含めた目標値 健診により健康課題の抽出が可能となる	特定健診・特定保健指導の実施率の国目標が未達
	未受診者フォロー(【実績値】 1回　【目標値】 令和6年度：1回)計画通り健診が行われているか毎月健診率を追う。														なし (アウトカムは設定されていません)		
	データ欠落フォロー(【実績値】 100%　【目標値】 令和6年度：100%)健診データをXMLで取り込んだ後、データ欠落など発生した場合は対処する。計画実施率														-		
	計画実施率(【実績値】 100%　【目標値】 令和6年度：95%)①未健診フォローを行う。														-		
	健診実施率（関係会社本人）(【実績値】 97.6%　【目標値】 令和6年度：95%)②未健診フォローを行う。　BP:95%、TH：92%														-		
	健診実施率（NML,NMK）(【実績値】 98.9%　【目標値】 令和6年度：95%)BP:95%、TH：92%														-		
	健診実施率（全体）(【実績値】 83.7%　【目標値】 令和6年度：84%)BP:84%、TH：80%														-		
	3	既存 (法定)	特定健診（被扶養者）	全て	男女	40～74	被扶養者	1	イ,キ,ケ	年度のはじめに対象者家族へ案内書を自宅送付する。年度を通じて受診できる ①代行機関での施設健診 ②集団での施設健診 ③受診券での地域健診 ④パート先などでの健診 ⑤指定機関以外の健診 ⑥職場巡回バスでの健診	オ,カ,キ,ク,ケ	①②代行業者へ委託 ③受診券発行 ④⑤健診結果入手 ⑥健診業者へ委託	登録されていないサービスを利用する	78,000	【目的】 特定健診による生活習慣病リスク判断 【概要】 健診代行業者を用いて予約状況を把握し早めのフォローが可能になる。 BP:56.5%、TH:52.5%	特定健診受診率80%を目標とする。被保険者含めた目標値 健診により健康課題の抽出が可能となる	特定健診・特定保健指導の実施率の国目標が未達
	未健診者案内送付(【実績値】 4回　【目標値】 令和6年度：4回)未健診者へ通知はがきを送付し健診を促す。または、パート先受診でのデータ提供を促す。														なし (アウトカムは設定されていません)		
	計画実施率(【実績値】 100%　【目標値】 令和6年度：100%)健診データをXMLで取り込んだ後、データ欠落など発生した場合は対処する。計画実施率														-		
	健診実施率(【実績値】 54.5%　【目標値】 令和6年度：56.5%)年度目標値　BP:56.5%、TH:52.5%														-		
3	既存 (法定)	家族の未健診者フォロー（被扶養者）	全て	男女	40～74	被扶養者	1	ク,ケ,シ	①家族の家族の健診フォロー（本部） ②長期未受診者フォロー（メディカル）:3年以上日産メディカルで受診していない人へ封書で受診勧奨を行う	カ,キ,ク,ケ,シ	①家族の健診フォロー（本部） ②長期未受診者フォロー（メディカル）	登録されていないサービスを利用する	13,000	【目的】 家族の健診受診促進を行い健康状況を確認する 【概要】 ①健診案内の自宅送付、パート先受診の強化 ②日産メディカル（直営健診センター）の未受診者フォロー	特定健診受診率90%を目標とする。被保険者含めた目標値 被扶養者の健診受診率はBP:56.5%、TH:52.5% 健診により健康課題の抽出が可能となる	特定健診・特定保健指導の実施率の国目標が未達	
家族の受診率(【実績値】 54.5%　【目標値】 令和6年度：50%)年度目標値　家族　BP:56.5%、TH:52.5%														なし (アウトカムは設定されていません)			
日産メディカル未受診者フォロー(【実績値】 63人　【目標値】 令和6年度：56人)年度目標値　メディカル　前年度実績以下														-			
未健診案内送付(【実績値】 5回　【目標値】 令和6年度：5回)-														-			
特定保健指導事業	4	既存 (法定)	特定保健指導（被保険者）	全て	男女	40～74	被保険者	3	イ,エ,オ,キ,ク,ケ,コ,サ,シ	①日産及び日産九州は各地区診療所の運営で保健指導を実施 ・健診当日の分割初回面談を実施する。事業主と連携して参加促進を促す。ICTの活用を行い参加しやすい体制づくりの実施 ・保健指導実績者の効果検証の実施 ②日産及び日産九州以外の関連会社は各事業所担当者に連絡し保健指導委託先と日程調整を行い実施する。ICTを促進しできるだけやりやすい環境を整える。委託先の状況を把握し対応する。	ア,イ,ウ,ケ,コ,シ	①日産及び日産九州は各地区診療所と日産各地区安全健康管理課とで連携し進めている。他地区診療所合同の看護職会議にて保健指導のスキルアップを図っている。 ②日産及び日産九州以外の関連会社は、健保本部の事業部が主体で委託先の選定から実施、脱落フォローまで指導する	株式会社JMDC、フィッツプラス	152,000	【目的】 特定保健指導のみに切り替え実施率の向上を図る 【概要】 保健指導実施率 ①日産/本人　初回面談実施率　BP:76%　TH:66% ②関連/本人　初回面談実施率　BP:64%　TH:55%	特定保健指導実施率58.4%以上を目標とする。被扶養者含めた目標値 ①日産/本人　初回面談実施率　BP:76%　TH:66% ②関連/本人　初回面談実施率　BP:64%　TH:55%	特定健診・特定保健指導の実施率の国目標が未達
	受診勧奨計画実施率(【実績値】 100%　【目標値】 令和6年度：100%)①診療所が主体で行い、実施方法も診療所に任せている。目標達成のための計画実施率 ②健保主体で担当者と委託業者を調整する。目標達成のための計画実施率														保健指導対象者の減少（全体）(【実績値】 16.9%　【目標値】 令和6年度：17%)毎月進捗管理している。（前年度実績以下） 全体目標値：BP:17.0%、TH:20.0%		
	保健指導実施率(【実績値】 75.5%　【目標値】 令和6年度：76%)毎月進捗管理している（初回面談実施率）①日産/本人　初回面談実施率　BP:76%　TH:66%														-		
	保健指導実施率(【実績値】 63.8%　【目標値】 令和6年度：64%)毎月進捗管理している（初回面談実施率）②関連/本人　初回面談実施率　BP:64%　TH:55%														-		

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	注2) 事業名	対象者			注3) 実施 主体	注4) プロセス 分類	実施方法	注5) ストラク チャー 分類	実施体制	外部委託先	予算額 (千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連	
				対象 事業所	性別	年 齢											対象者
アウトプット指標													アウトカム指標				
	4	既存 （法定）	特定保健指導 （被扶養者）	全て	男女	40 ～ 74	被扶養 者	1	イ,エ,オ,キ ,ク,ケ,コ	委託業者より案内を送送する	ウ,カ,ケ,コ	40歳以上の家族の健 診者に特保の指導を行 う	フィッツプラス	10,000	【目的】リスクに応じた保健指導を行うことで、限られた予算を有効に使い結果（重症化予防）につなげる 【概要】40歳～74歳/家族 国基準の支援対象者へ保健指導を案内する	特定保健指導実施率55%を目標とする。被 保険者含めた目標値	特定健診・特定保健指導の実施率の国目標が 未達
	保健指導実施率(【実績値】19.5% 【目標値】令和6年度：20%)保健指導実施率												保健指導対象者の減少率（家族）(【実績値】6.3% 【目標値】令和6年度：6.9%)毎月進捗管理している。				
	4	既存	健診時同時初 回面談の推進 （特定保健指 導）	一部の 事業所	男女	40 ～ 74	被保険 者,被扶 養者	1	コ	健診センター（メディカル）での実施（家 族）	ア,イ,キ	健診日当日の健診結 果から特保対象を判 断し、健診日当日初 回面談を実施する。 健診当日に行うこと で実施率UPを図る	未定	1,310	【目的】保健指導内容の改正を受けて検診日当日の初回面談を行うことで実施率の向上を狙う 【概要】直営健診センター 初回面談実施率 BP:74%以上 完了率 BP:89%以上	①初回面談実施者数 BP:74%以上 完了 率（動機・積極） BP:89%以上	特定健診・特定保健指導の実施率の国目標が 未達
	健診センター 特定保健指導面談実施率(【実績値】79.3% 【目標値】令和6年度：74%)健診センター 特定保健指導 初回面談実施率（動機・積極） BP:74%以上												なし (アウトカムは設定されていません)				
	健診センター 特定保健指導完了率(【実績値】91.6% 【目標値】令和6年度：89%)健診センター 特定保健指導 完了率（動機・積極） BP:89.以上												-				
2,5	既存	講演会やセミ ナー開催	全て	男女	0 ～ （上 限な し）	加入者 全員	1	ケ	直営健診センターで年間計画（9回／年） し、活動のPRや参加者の分析などを行う	ア,ウ,コ	直営健診センターで 計画する	未定	2,400	【目的】情報提供を通じ話題作りや生活習慣改善へ誘導する。ストレス軽減やメンタル予防にも効 果を求める。 【概要】直営健診施設（日産メディカル）にて健康づくりセミナーを年間計画に基づいて開催する 。	FY19より月報報告は行わないが年間計画を 立て実施する	健康意識の向上・生活習慣改善	
計画実施率(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：90%)計画実施率：90%以上												なし (アウトカムは設定されていません)					
保健 指導 宣伝	5	既存	育児支援	全て	女性	0 ～ （上 限な し）	基準該 当者	1	ス	初産者へ育児書を毎月送付（1歳になるまで）	シ	専門業者へ委託	株式会社 社会保 険社	2,100	【目的】初産者への子育て支援 【概要】育児書を送付することで子育ての情報提供と健保との繋がりを継続させる	毎月送付／年（対象者抽出）	性差や年齢による健康課題
	実施人数(【実績値】609人 【目標値】令和6年度：609人)毎月、データを抽出し対象者を送る												なし (アウトカムは設定されていません)				
	8	既存	データヘルス 計画推進シス テムの構築	全て	男女	0 ～ （上 限な し）	その他	1	イ,ウ,キ,ク	①月報、けんこう宅配便（健診結果出力） 、ジェネリック通知、事業所用けんこうレ ポート、組合会資料などで活用する。	シ	必要な人が利用で きる環境を整える	株式会社JMDC	3,200	【目的】効果的な保健事業を行うため、保有データを有効活用する分析システムを導入する 【概要】レセプトと健診データ、適用情報など工数をかけずに分析を行う活用率／100%	①活用率／100% ②効果的な分析	該当なし
	活用率(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100%)月報、けんこう宅配便（健診結果出力）、ジェネリック通知、事業所用けんこうレポート、組合会資料など												なし (アウトカムは設定されていません)				
疾 病 予 防	5	既存	禁煙活動（2 ）ノンスモ	全て	男女	20 ～ （上 限な し）	基準該 当者	1	エ,キ,ケ	本人負担額は0円。QRコードから簡単にア クセスでき、申し込みをすると禁煙ガムが 自宅に届き、チャットによる禁煙サポート が6か月間届く。	ア,イ,ウ,ケ	健保の会議体で紹介 し、事業所の協力や 活動の周知を行う。 また利用者へはICT（ PepUp)や社内イント ラで申し込み期間な ど告知する。	株式会社リンケー ジ	6,000	【目的】喫煙率を下げ健康へのリスクを低減する活動を行う 【概要】計画的に禁煙日を設け、禁煙を体験することで成功体験を重ね完全禁煙へのステップとし て利用してもらう。 今年度実施しない理由：禁煙活動に含める	禁煙活動実施率:年2回実施	生活習慣病の予防と重症化の予防
	禁煙活動実施率:年2回実施(【実績値】- 【目標値】令和6年度：100%)年2回実施												喫煙率(【実績値】24.4% 【目標値】令和6年度：24.4%)前年実績以下（前年実績24.4%）				
	禁煙成功率(【実績値】- 【目標値】令和6年度：21.8%)プログラム終了一か月後にヒヤリングし、それまで禁煙が続いていた割合												-				
	減煙成功率(【実績値】- 【目標値】令和6年度：60%)プログラム参加後、減煙ができているか一か月後にヒヤリングして得た割合												-				
	アンケート回収率(【実績値】- 【目標値】令和6年度：48.8%)プログラム終了後1か月でのアンケート回収率												-				
	4	既存	保健指導（糖 尿病重症化防 止活動_診療 所）	母体企 業	男女	18 ～ （上 限な し）	基準該 当者	1	イ,オ,キ,ク ,ケ,サ	健診の糖有所見者のうち、ターゲット層に 対して各地区診療所で定めた活動を実施	ア,イ,ク,サ	診療所内スタッフ（ 産業医・看護職）と の連携、事業主との 連携体制の構築、健 保内での連携体制を 整える。	未定	1,000	【目的】従業員の糖尿病の重症化を防止する 【概要】全地区統一のターゲット層を定め、対象者に対して指導・活動を実施し実施率で管理する	産業医指示に対する保健指導の計画実施率 90%	生活習慣病の予防と重症化の予防
計画実施率(【実績値】100% 【目標値】令和6年度：90%)産業医指示に対する保健指導の計画実施率													なし (アウトカムは設定されていません)				

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	注2) 事業名	対象 事業所	性別	年齢	対象者	注3) 実施 主体	注4) プロセス 分類	実施方法	注5) ストラク チャー 分類	実施体制	外部委託先	予算額 (千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連	
	アウトプット指標														アウトカム指標			
	2,3,4	既存	生活習慣病健診	全て	男女	18～74	被保険者,被扶養者	1	イ,ウ,ケ	①健診代行業者委託に変更し、生活習慣病リスク低減のため受診しやすい環境を整える。 ②生活習慣病健診と名称を変え、女性がん検査を無償化する。(FY19～) ③健診未予約の人を早目にフォローし早期発見による重症化防止を図る。 ④日産メディカル 生活習慣病健診受診促進（受診枠充足率・新規受診率の向上）	カ,キ	①被扶養者の健診実施率は月次報告会で毎月報告を行う ④日産メディカル 方策を講じて毎月の受診枠充足率と新規受診率を月次報告する	ウィーメックス株式会社	266,678	【目的】生活習慣病のリスク測定と、早期発見による重症化防止を図る 【概要】 ①医療機関との直接契約から健診代行業者委託に変更する。（FY18～） ②生活習慣病健診と名称を変え、特定健診項目と女性がん検査を無償化する。（FY19～） ③健診未予約の人を早目にフォローする（健診代行へ移行したことで可能になる） ④日産メディカル 生活習慣病健診の受診促進（枠充足率）、新規受診率 被扶養者（４０歳以上）：健診率　BP：56.5%、TH：52.5%	被扶養者（４０歳以上）：健診率　BP：56.5%、TH：52.5% がん検診実施率の向上（５大がんの検診率）は目標値を持たないが集計は行う。	生活習慣病の予防と重症化の予防	
胃がん精検受診率(【実績値】 85.2%　【目標値】 令和6年度：75%)日産本人　胃がん精検受診率　BP:75%、TH:70%														なし (アウトカムは設定されていません)				
大腸がん精検受診率(【実績値】 77.3%　【目標値】 令和6年度：75%)日産本人　大腸がん精検受診率　BP:75%、TH:70%														-				
がん精検受診率(【実績値】 32.5%　【目標値】 令和6年度：39.1%)関係会社本人　がん精検受診率　BP:39.1%、TH:34.1%														-				
がん精検受診率(【実績値】 51.3%　【目標値】 令和6年度：39.8%)家族　がん精検受診率　BP:52.8%、TH:47.8%														-				
未受診者フォロー(【実績値】 4回　【目標値】 令和6年度：4回)-														-				
データ欠落フォロー(【実績値】 10回　【目標値】 令和6年度：10回)データ抽出時にエラーチェックを行う														-				
日産メディカル健診受診促進(【実績値】 80%　【目標値】 令和6年度：80%)④日産メディカル 生活習慣病健診の受診促進（枠充足率）BP:80%、TH:70%														-				
日産メディカル健診受診促進(【実績値】 5.1%　【目標値】 令和6年度：5.1%)④日産メディカル 生活習慣病健診の受診促進（新規受診率）BP:5.1%、TH:3.5%														-				
健診受診率(【実績値】 54.5%　【目標値】 令和6年度：56.5%)被扶養者　BP：56.5%、TH：52.5%														-				
3	新規	新：郵送健診*	全て	女性	38～39	基準該当者	1	ク,ケ	過去３年間健診未受診者に郵送健診を行った	シ	神奈川連合会との共同事業で被保険者の健診実施率向上の対策として実施した。	未定	1,000	【目的】被扶養者の健診率向上。岩盤層を対象に実施 【概要】神奈川連合会との共同事業として38、39歳の被扶養者で過去３か年未受診者に自宅に健診キットを送る事業を計画した	被扶養者（４０歳以上）：健診率　BP：56.5%、TH：52.5%	生活習慣病の予防と重症化の予防		
健診実施率(【実績値】 54.5%　【目標値】 令和6年度：56.5%) 被扶養者（４０歳以上）：健診率　BP：56.5%、TH：52.5%														なし (アウトカムは設定されていません)				
計画実施率(【実績値】 -　【目標値】 令和6年度：1回)年度内１回実施														-				
申込者率(【実績値】 -　【目標値】 令和6年度：20%)-														-				
3	既存	ドック健診	全て	男女	30～74	基準該当者	1	ア,イ,ウ,エ,オ,ケ	①生活習慣病健診と人間ドックを併記して受診案内冊子を対象者へ自宅配布する。HPやメルマガなど啓発活動を行う ②日産メディカル 退職者を含む加入者に格安でドックを提供する	ア,イ,キ	①医療機関との直接契約から健診代行業者委託に変更する。（FY18～） ②健保直営の健診センター（日産メディカル）で目標値を設定して健診率向上を目指す	ウィーメックス株式会社	130,911	【目的】早期発見により重症化防止を図る 【概要】①医療機関との直接契約から健診代行業者委託に変更する。（FY18～） ②日産メディカル 健診満足度を測定する　BP：85%、TH：80%	早期発見により重症化を防止する	生活習慣病の予防と重症化の予防		
ドック受診者数(【実績値】 4,166人　【目標値】 令和6年度：4,685人)①受診者数　・ドック健診　目標値：FY23実績値　4035人														がん精検受診率（全体）(【実績値】 50.2%　【目標値】 令和6年度：52%)全体　BP:52%　TH：47%				
日産メディカル 健診満足度(【実績値】 90.2%　【目標値】 令和6年度：85%)②日産メディカル 健診満足度　BP：85%、TH：80%														-				
3	既存	がん検診（職場）	全て	男女	40～（上限なし）	被保険者	1	イ,ウ,オ,キ,ケ,サ	①事業主の定期健康診断で同時に胃がん・大腸がんを行い、一部健診補助を行う。 ②巡回健診でマンモグラフィー、子宮がん検診を職場巡回型で実施する	ア,イ,カ,キ,ケ,コ	①事業主から請求書と健診実績リストを受け取り、実施数に応じて費用補助を行う。 ②職場巡回バス健診は日時や手続きなど本部主体で行う。	登録されていないサービスを利用する	36,000	【概要】①事業主の定期健康診断で同時に胃がん・大腸がんを行い、一部健診補助を行う。 ②巡回健診でマンモグラフィー、子宮がん検診を職場巡回型で実施する	がんの早期発見により重症化を防止する	がん早期発見・早期治療		
計画実施率(【実績値】 100%　【目標値】 令和6年度：100%)①事業主健診の大腸がん・胃がん（ABC検査）の費用補助計画実施率 ②職場巡回婦人科健診の計画実施率														なし (アウトカムは設定されていません)				
がん精検受診率（日産本人）(【実績値】 79.4%　【目標値】 令和6年度：85%)日産本人　胃がん・大腸がん														-				
がん精検受診率（関係会社）(【実績値】 39.1%　【目標値】 令和6年度：39.1%)関係会社本人　胃がん・大腸がん　BP:39.1%、TH:34.1%														-				
がん精検受診率（関係会社）(【実績値】 70%　【目標値】 令和6年度：70%)関係会社本人　肺・乳・子宮がん　BP:70%、TH:60%														-				
胃・大腸がん精検受診率（家族）(【実績値】 51.3%　【目標値】 令和6年度：51.3%)家族　胃・大腸がん　BP:51.3%、TH:46.3%														-				
2,3	既存	３３歳人間ドックの無料化	全て	男女	33～33	被保険者	1	ア,イ,ウ,オ,キ,ク,ケ	33歳の対象者へ人間ドックを無償化し若年層のヘルスリテラシーの向上を狙う ①日産従業員 ②関係会社	ア,イ,ウ,カ,ケ,コ	・事業主からのアプローチを強化する ・啓発活動を強化する ①日産従業員 ②関係会社	ウィーメックス株式会社	37,724	【目的】（若年層対策）40歳前に健康リテラシーを向上させ、健康の維持・増進・悪化防止のスキームを作る 【概要】33歳の対象者へ人間ドックを無償化する ①日産 母数565人　BP:60%　TH:55% ②関係会社 母数422人　BP:53%　TH:48%	①日産 母数565人　BP:60%　TH:55% ②関係会社 母数422人　BP:53%　TH:48%	性差や年齢による健康課題		
①33歳ドック受診者率 日産(【実績値】 71.6%　【目標値】 令和6年度：60%)①日産 母数565人　BP:60%　TH:55%														なし (アウトカムは設定されていません)				
②33歳ドック受診者率 関係会社(【実績値】 52.6%　【目標値】 令和6年度：53%)②関係会社 母数422人　BP:53%　TH:48%														-				

予 算 科 目	注1) 事業 分類	新 規 既 存	注2) 事業名	対象者			注3) 実施 主体	注4) プロセス 分類	実施方法	注5) ストラク チャー 分類	実施体制	外部委託先	予算額 (千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連	
				対象 事業所	性別	年 齢											対象者
アウトプット指標														アウトカム指標			
4	既 存	率	がん精検受診	全て	男女	18 ～ （上 限 なし）	基準該 当者	1	イ,ウ,エ,オ ,ク,ケ,シ	①日産及び日産九州 本人 胃・大腸精検者を診療所でフォローし管理する。 ②日産及び日産九州以外の関連会社 胃・大腸精検者を一部費用補助し要所見者を報告してもらうことでレセプトと突合し管理する。 ③家族 健診機関から結果を入手しレセプトと突合することで管理する。	ア,イ,ウ,カ ,キ,ケ	①②③を分類し担当グループで管理する	未定	4,100	【目的】 健診後フォロー 精検受診率を追い、未治療者をフォローし治療につなげ重症化を防止する 【概要】 有所見者の未治療者（医療）を追いアプローチする ①全体 精検受診率 BP:45%、TH:35% ②日産本人 胃・大腸精検者 BP:75～85% TH:70～80%。 ③関連会社 精検受診率 BP:39.1%、TH:34.1% ④家族 5部位がん精検受診率 BP:53.6%、TH:48.6%	①全体 精検受診率 BP:45%、TH:35% ②日産本人 胃・大腸精検者 BP:75～85%、TH:70～80% ③関連会社 精検受診率 BP:39.1%、TH:34.1% ④家族 精検受診率 BP:52.8%、TH:47.8%	がん早期発見・早期治療
がん精検受診率（全体）（【実績値】 50.2% 【目標値】 令和6年度：45%）①全体 精検受診率 BP:45%、TH:35%														がん重症化防止(患者当たり医療費)（【実績値】 883,497円 【目標値】 令和6年度：883,497円)令和5年度：883,497円			
胃がん精検受診率（日産）（【実績値】 85.2% 【目標値】 令和6年度：85%）②日産本人 胃がん精検受診率 BP:85%、TH:80%														がん重症化防止（人数）（【実績値】 2,666人 【目標値】 令和6年度：2,666人)令和5年度：2,666人			
大腸がん精検受診率（日産本人）（【実績値】 77.3% 【目標値】 令和6年度：75%）②日産本人 大腸がん精検受診率 BP:75%、TH:70%														1件当たり受療日数(【実績値】 1.56日 【目標値】 令和6年度：1.56日)令和4年度：1.56日			
胃・大腸がん精検受診率（関係会社本人）（【実績値】 32.5% 【目標値】 令和6年度：34.5%）関係会社本人 がん精検受診率 BP:34.5%、TH:28.7%														喫煙率(【実績値】 24.4% 【目標値】 令和6年度：24.4%)第3期データヘルス計画指標 中計項目：6. がん対策の取り組みを強化			
胃・大腸がん精検受診率（家族）（【実績値】 51.3% 【目標値】 令和6年度：51.3%）家族 胃・大腸がん BP:51.3%、TH:46.3%														-			
3	既 存	進	歯科健診の促	全て	男女	0 ～ （上 限 なし）	加入者 全員	1	ア,イ,ウ,オ ,キ,ク,ケ, サ	①2回／年 口腔検査・歯石除去の費用補助 ②職場出張健診の費用補助 ③PePupを活用したeラーニングを実施	ア,イ,ウ,カ ,キ,ケ,コ	①無料健診の利用者を増やす ②事業所で健診時やイベント実施時に出張歯科健診を行う ③PePupを活用したeラーニングを実施することで歯科健診受診の促進を行う ④②受診者への受診勧奨	株式会社ハミエル、 株式会社ハミエル	37,461	【目的】 早期発見、早期治療により重症化を防止し医療費の抑制を図る 【概要】 ①無料健診の利用者を増やす。 ②事業所で健診時に出張歯科健診を行う ③PePupを活用したeラーニングを実施することで歯科健診受診の促進を行う ④②受診者への受診勧奨	早期発見・早期治療により重症化を防止し 医療費抑制につなげる	生活習慣病の予防と重症化の予防
歯科健診実施者数(【実績値】 2,397人 【目標値】 令和6年度：2,397人)①歯科検診実施者数 前年実績を目標値とする														歯科メンテナンス受療率(【実績値】 40.49% 【目標値】 令和6年度：40.49%)④歯科健診結果（受診勧奨率）レセプトより算出する			
出張歯科健診受診者数(【実績値】 5,300人 【目標値】 令和6年度：5,300人)②出張歯科健診受診者数														-			
5	既 存		禁煙活動	全て	男女	20 ～ （上 限 なし）	基準該 当者	3	エ,キ,ケ	①遠隔禁煙外来：本人負担額は5,000円。専用アプリより申込を行い自分の好きな時間にオンライン診療（4回）を受ける。薬については、本人指定の送付先に発送。最終診療後10か月（4回）フォロー連絡あり。 ②ノンスモプログラム：本人負担額は0円。QRコードから簡単にアクセスでき、申し込みをすると禁煙ガムが自宅に届き、チャットによる禁煙サポートが6か月間届く。	ア,イ,ウ,ケ	①遠隔禁煙外来：プログラムは外注しているが費用補助は健保。 ②ノンスモプログラム：健保の会議体で紹介し、事業所の協力や活動の周知を行う。また利用者へはICT（PePup）や社内イントラで申し込み期間など告知する。	株式会社リンケージ	8,000	【目的】 喫煙率を削減し健康へのリスクを低減する活動を行う 【概要】 ①目標設定し活動を進める。また事業所単位でも目標設定し競争意識を持たせる（関連／本人） ②計画的に禁煙日を設け、禁煙を体験することで成功体験を重ね完全禁煙へのステップとして利用してもらう。	喫煙率 ①日産本人 BP:24.6% TH:25.6% ②関連本人 BP:29.8% TH:31.0% ③家族 BP: 5.6% TH: 5.8%	生活習慣病の予防と重症化の予防
禁煙活動実施率:年2回実施(【実績値】 100% 【目標値】 令和6年度：100%)ノンスモ：年2回実施														喫煙率(【実績値】 25.1% 【目標値】 令和6年度：24.6%)①日産本人 BP:24.6% TH:25.6%			
禁煙成功率(【実績値】 25.7% 【目標値】 令和6年度：21.8%)ノンスモ：プログラム終了一か月後にヒヤリングし、それまで禁煙が続いていた割合														喫煙率(【実績値】 30.4% 【目標値】 令和6年度：31.0%)②関連本人 BP:29.8% TH:31.0%			
減煙成功率(【実績値】 18.6% 【目標値】 令和6年度：60%)ノンスモ：プログラム参加後、減煙ができていくか一か月後にヒヤリングして得た割合														喫煙率(【実績値】 5.5% 【目標値】 令和6年度：5.6%)③家族 BP: 5.6% TH: 5.8%			
アンケート回収率(【実績値】 44.5% 【目標値】 令和6年度：48.8%)ノンスモ：プログラム終了後1か月でのアンケート回収率														喫煙率(【実績値】 24.4% 【目標値】 令和6年度：24.4%)全体：目標値 前年実績以下			
1,2,5	既 存		50歳以上への健康増進活動	全て	男女	50 ～ （上 限 なし）	被保険者,基準 該当者	1	オ,キ,ク,ケ	健康増進につながる測定会（個別指導を含む）・セミナー等を行い、事前アンケートや測定結果から自身の状態を把握してもらい健康課題の改善につなげる	ア,イ,ウ,ク ,ケ,コ	事業主の協力を得て50歳以上の従業員に健康増進企画を展開する。	登録されていないサービスを利用する	4,000	【目的】 年齢による体力の衰え身体の変化を体感、学習し生活習慣に役立てる 【概要】 50歳以上の従業員に健康増進活動につながる企画を展開（測定会・指導・セミナー等）、自分が意識している身体能力と測定値の差を認識することで生活習慣の改善に役立てる。	日々の生活習慣改善（運動習慣・食生活週刊）への行動変容につなげる	性差や年齢による健康課題
参加事業所数(【実績値】 6事業所 【目標値】 令和6年度：6事業所)FY23実績 6事業所930名参加														運動習慣率（NML）（【実績値】 26.2% 【目標値】 令和6年度：28.0%）第3期データヘルス計画指標 中計項目：8. 40歳以上の健康増進活動を推進、高齢者の増加に対応			
5,6	既 存		電話相談（健康相談＆メンタル相談）	全て	男女	0 ～ （上 限 なし）	加入者 全員	1	エ,ス	従業員および家族の医療相談やメンタル疾患の患者本人・家族・その他関係者等の不安解消と疾病の重症化防止、また育児支援を目的とした窓口を24Hフリーダイヤル及びWebで受け付ける	シ	専門業者へ委託	登録されていないサービスを利用する	4,950	【目的】 緊急時や困り事の相談を行うことにより不安解消を図る 【概要】 医療相談やメンタル疾患の患者本人・家族・その他関係者等の不安解消と疾病の重症化防止、また育児支援を目的とした窓口を24Hフリーダイヤルで受け付ける	緊急時や困りごとの相談を行うことにより不安解消を図り、医療費の健全化につなげる	メンタルヘルス不調者の低減
利用件数(【実績値】 610件 【目標値】 令和6年度：610件)利用件数 前年実績を目標とする														なし (アウトカムは設定されていません)			

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	注2) 事業名	対象者			注3) 実施主体	注4) プロセス分類	実施方法	注5) ストラクチャー分類	実施体制	外部委託先	予算額 (千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢											
アウトプット指標													アウトカム指標				
7	既存		ジェネリックの利用促進	全て	男女	0～（上限なし）	基準該当者	1	キ,ク,ス	シ		外注化によりシステムチックに発送する	株式会社JMDC	2,500	【目的】調剤費の抑制を行い医療費の適正化を図る 【概要】①差額通知 年2回 ②高齢受給者証発行時に希望シールを同封 ③新規加入者へ健保ガイド ④新規加入者の被保険者証に希望シールを貼付	2回／年 抽出条件：新薬から後発医薬品に切り替えること500円以上の差額が生じる方。（PepUp登録者等は除外）	該当なし
ジェネリック利用率(【実績値】 84.08% 【目標値】 令和6年度：84.08%)ジェネリック利用率：前年以上を目標とする													なし (アウトカムは設定されていません)				
4,6	既存		健康相談（クリンタル）	全て	男女	0～（上限なし）	加入者全員	1	エ,ス	ウ,キ,シ		けんぽホームページからまたはPepUpサイトから参加可能	登録されていないサービスを利用する	7,600	アプリとウェブサイトで利用できる「看護師との健康相談チャット」および「医師紹介サービス」FY20より継続	利用件数 前年以上	生活のQOLの向上
利用件数(【実績値】 1,409件 【目標値】 令和6年度：1,409件)FY23利用件数 1409件													なし (アウトカムは設定されていません)				
4	既存		ポリファーマシー対策	全て	男女	0～（上限なし）	基準該当者	1	ク	ウ		専門事業者との連携により対象者を抽出する。また、全期間対象ではないので、今後は通院時期をずらした活動を行い、全期間を通じて発行できるスキームを構築する	株式会社メディアラート	11,000	対象者を抽出し注意喚起の案内を自宅配布する 3年目となる今年は、対象者を拡大し、年度を通して発行できるスキームを構築する。	医療費適正化事業として効果検証を行う	該当なし
計画実施率(【実績値】 100% 【目標値】 令和6年度：100%)FY22対象者を拡大し1回以上実施 1回→100%													医療費低減効果(【実績値】 3,000,000円 【目標値】 令和6年度：3,000,000円)事業前と事業後で効果検証（医療費低減費）する				
4	既存		重症化予防	全て	男女	18～（上限なし）	基準該当者	1	イ,エ,キ,ク,ケ	ア,ウ		①対象者抽出は内製で行い、事業所の協力を得て対象者へアプローチし、活動受諾者は外注業者へ連絡して、専門職による保健指導および主治医との連携を経て生活習慣改善を促す。 ②事業所から対象者に対し、案内を渡してもらい、申込者には指導会社より保健指導を実施する。	株式会社PREVENT	18,000	①FY21の健診結果で対象者抽出を行い、事業所と連携して活動参加の連絡を行う。通院者で既往歴のあるもの（再発防止）やハイリスク者（重症化防止）を抽出する。保健指導は外注業者へ委託する。活動後の数値変化や通院状況等継続して追っていく。 ②FY24健診結果から対象者抽出を行い事業所より担当者へ案内を配布してもらう。申込者には指導会社より3か月間の保健指導を実施する。	保健指導のスキームは委託業者が行うが、案内文章や参加方法など知恵を出して参加率向上をめざす。また、対象者抽出は内製で行い費用低減を図る	生活習慣病の予防と重症化の予防
参加率(【実績値】 12.3% 【目標値】 令和6年度：16%)プログラム参加者率 BP:16%、TH:11%													なし (アウトカムは設定されていません)				
8	新規		データの有効活用	全て	男女	0～（上限なし）	基準該当者	1	ス	シ		必要な時点で体制を整え検討する	株式会社メディアラート	4,182	保健事業に関わる、データを活用した分析の依頼 ロコモ測定データとレセプトおよび健診データを突合し転倒や筋力低下などからなる労働災害の防止に役立てる	より効果的な保健事業を行うためのデータ分析を行う	該当なし
計画実施率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：100%)大学にデータ分析を依頼する													-				
4	新規		新：医科歯科連携の包括的な健康づくり実現に向けた口腔ケアの現状把握と促進に関する事業（共同事業）*	全て	男女	0～（上限なし）	加入者全員	1	ウ	シ		共同事業として歯科コンソーシアムに参加し、システムの構築するための会議体に参加する	登録されていないサービスを利用する	0	コンソーシアムに参加し意見交換を行う	医科歯科連携分析システムの開発	生活習慣病の予防と重症化の予防
計画実施率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：80%)コンソーシアムの会議体に参加する 参加率80%を目標とする													なし (アウトカムは設定されていません)				

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	注2) 事業名	対象者			注3) 実施主体	注4) プロセス分類	実施方法	注5) ストラクチャー 分類	実施体制	外部委託先	予算額 (千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢											対象者
アウトプット指標													アウトカム指標				
	2,5	新規	新：子どもを通して家族の健康と生活習慣改善を見直す保健事業（共同事業）*	全て	男女	10～10	基準該当者	1	ク,ケ	親子参加型オンライン健康ワークショップの開催（家族向け保健指導、働き方と健康課題の紹介を含む）アンケート等による健康意識や行動変容等の把握	シ	共同事業に参加し、対象者を選定して案内を自宅配布する。ワークショップの参加も推進する。	株式会社 社会保険出版社	1,000	子どもを通して家族の健康を考える機会を作る 子どもを通して悪い生活習慣や健康問題の行動変容を促す 健康づくりを契機に家族の働き方への理解も深める	家族の健康リテラシー向上	性差や年齢による健康課題
	ワークショップ参加率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：10%)対象者は小学4年生としてけんぼだよりを送付しワークショップへの参加促進を行う												被扶養者の検診促進(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：10%)けんぼだよりを送った対象者で前年の未健診者がFY24で検診実施した率を測定する				
	4,5	新規	新：抗菌薬の適正服薬の啓発	全て	男女	6～12	基準該当者	1	イ,ク	抗菌薬の適切服薬を案内するちらしを対象者に自宅送付する	シ	業務委託して行う	株式会社メディアアート	1,000	対象者を抽出し注意喚起のちらしを送付する（年1回）	抗菌薬の適切な服用（こども対象）、耐性菌の抑制	性差や年齢による健康課題
	計画実施率(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：100%)対象者に啓発チラシを送付する 年1回												なし (アウトカムは設定されていません)				
	2,5	新規	新：オンライン女性の健康課題教室（共同事業）*	全て	男女	0～（上限なし）	加入者全員,任意継続者	1	ケ	健保発信のHPやメルマガ、PepUp、けんぼニュースなどを利用して健康づくり教育（オンライン教室）への自発的な参加をサポートする	ク	ふれあい健康事業推進協議会に加入し、テーマごとに開催されている健康教室を利用する	未定	500	ふれあい健康事業推進協議会と契約し、介護支援・女性特有の健康問題などをテーマに開催されている健康教室の参加を募る。全国・年間を通じて活動をしている。	参加者数 年間延べ50人	性差や年齢による健康課題
	参加者数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：50人)テーマごとの健康教室での参加人数を述べ人数で計算する。												がん医療費（女性特有のがん）(【実績値】 57.8万円 【目標値】 令和6年度：57.8万円)第3期データヘルス計画指標 中計項目：10．女性の健康課題をサポート				
体育奨励	5	新規	新：オンライン介護教室（共同事業）*	全て	男女	0～（上限なし）	加入者全員,任意継続者	1	ケ	健保発信のHPやメルマガ、PepUp、けんぼニュースなどを利用して健康づくり教育（オンライン教室）への自発的な参加をサポートする	ク	ふれあい健康事業推進協議会に加入し、テーマごとに開催されている健康教室を利用する	登録されていないサービスを利用する	500	ふれあい健康事業推進協議会と契約し、介護支援・女性特有の健康問題などをテーマに開催されている健康教室の参加を募る。全国・年間を通じて活動をしている。	参加者数 年間延べ50人	生活のQOLの向上
	参加者数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：50人)テーマごとの健康教室での参加人数を述べ人数で計算する。												なし (アウトカムは設定されていません)				
	5	既存	健康作り支援（スポーツジム契約）	全て	男女	0～（上限なし）	基準該当者	1	ア,キ,ケ,ス	スポーツジムと法人契約を結び利用者の負担軽減を図る	ク,ケ	法人契約しているスポーツジムから加入者情報（利用状況）を報告してもらいPepポイント付与（インセンティブ）に繋げる	登録されていないサービスを利用する	5,858	【目的】 自主的に運動習慣を身に付け健康の維持向上を支援する 【概要】 ジム契約者にはPepポイントを付与して利用促進を図る	自主的に運動習慣を身に付け健康の維持向上を支援する	生活のQOLの向上
	ジム利用者数（延べ人数）(【実績値】 3,833人 【目標値】 令和6年度：3,833人)前年比較 前年はコロナ禍での利用者減のため目標は前年以上とする。												健康年齢わかさ率(【実績値】 63% 【目標値】 令和6年度：63%)モニタリングごして進捗確認 FY23目標値 BP:69%、TH:66% 前年実績63%				
	-												運動習慣ありの割合（本人）(【実績値】 27.4% 【目標値】 令和6年度：27.4%)前年実績以上				
	-												運動習慣ありの割合（家族）(【実績値】 29.7% 【目標値】 令和6年度：29.7%)前年実績以上				
直営保養所	5	新規	オンラインジム	全て	男女	18～（上限なし）	加入者全員	1	エ,キ,ケ	運動習慣の定着を図るためオンラインジムを開催する	ク,ケ	Web上のジム（オンラインジム）を計画する。専門業者と連携して効果的なイベントを開催する	登録されていないサービスを利用する	2,000	【目的】 自主的に運動習慣を身に付け健康の維持向上を支援する 【概要】 Web上のジム（オンラインジム）を計画する。専門業者と連携して効果的なイベントを開催する	オンラインジムの計画し、自宅でも運動ができる環境を作る。	生活のQOLの向上
	実施者数(【実績値】 432人 【目標値】 令和6年度：432人)実施者数（前年実績 延べ人数）前年実績以上												なし (アウトカムは設定されていません)				
	8	既存	福利厚生（直営保養所・外部リゾート施設契約）	全て	男女	0～（上限なし）	加入者全員,任意継続者,その他	1	ス	①直営保養所 2カ所（直営と委託運営） ②法人契約施設 2社 ③その他契約施設（宿泊施設やレジャー施設など法人契約 40カ所）	シ	①②専任の部門があり管理している	未定	0	【目的】 安価に利用可能な施設を保有することで、従業員および家族とOBにも心のリフレッシュを提供する 【概要】 ①直営保養所 2施設 ②契約施設 法人契約 2社 ③そのほか宿泊施設やレジャー施設など法人個別契約40カ所以上	安価に利用可能な施設を保有することで、従業員および家族とOBに心のリフレッシュを提供する。 ①は事業所の研修や保健事業の施設提供などでも利用可能	生活のQOLの向上
	利用数(【実績値】 8,800人 【目標値】 令和6年度：8,800人)①直営保養所の利用者数												なし (アウトカムは設定されていません)				
利用数(【実績値】 6,770人 【目標値】 令和6年度：6,770人)②契約施設（法人契約） リゾートトラスト 利用者数												-					
利用数(【実績値】 1,979人 【目標値】 令和6年度：1,979人)②契約施設（法人契約） 泉郷 利用者数												-					

予算科目	注1) 事業分類	新規 既存	注2) 事業名	対象者			注3) 実施 主体	注4) プロセス 分類	実施方法	注5) ストラク チャー 分類	実施体制	外部委託先	予算額 (千円)	実施計画	事業目標	健康課題との関連	
				対象 事業所	性別	年齢											対象者
アウトプット指標														アウトカム指標			
その他	8	既存	安心して治療に専念できる環境づくり（付加給付の充実）	全て	男女	0～（上限なし）	基準該当者	1	ス	①付加給付の充実 ②休業補償の補てん ③休業期間の延長	シ	健保の通常業務として仕組みづくりがきている	未定	0	【目的】安心して治療に専念できる環境づくり 【概要】①付加給付金の充実 ②休業補償の補てん ③休業補償期間の延長	健全な運営の構築 ①付加給付金の充実 ②休業補償の補てん ③休業補償期間の延長	該当なし
	付加給付金支給の達成率(【実績値】100%　【目標値】令和6年度：100%)適正な付加給付金支給の達成率													なし (アウトカムは設定されていません)			
予算措置なし	8	既存	利用者の満足度向上（3事業）	全て	男女	0～（上限なし）	基準該当者	1	ス	①日産診療所利用者満足度調査 ②日産メディカル（健診センター）利用者満足度調査 ③保養所利用者満足度調査	シ	①日産診療所 ②日産メディカル ③保養所	未定	0	目的】3つの事業における満足度を調査しそれぞれの目標と合計満足度を管理する 【概要】満足度5段階評価の5点のみ評価（5非常に満足） 全体満足度 ①日産診療所利用者満足度 ②日産メディカル（健診センター）満足度 ③保養所利用者満足度	全体満足度　BP:85%、TH:80% ①診療所　BP:85%、TH:80% ②メディカル　BP:85%、TH:80% ③保養所　BP:90%、TH:85%	生活のQOLの向上
	お客様総合満足度（5点満点の率）(【実績値】90%　【目標値】令和6年度：85%)お客様総合満足度（5点満点の率）：BP:85%、TH:80%													なし (アウトカムは設定されていません)			
	診療所利用者満足度(【実績値】89%　【目標値】令和6年度：85%)①診療所　BP:85%、TH:80%													-			
	日産メディカル利用者総合満足度(【実績値】90%　【目標値】令和6年度：85%)②メディカル　BP:85%、TH:80%													-			
	保養荘お客様満足度(【実績値】91%　【目標値】令和6年度：90%)③保養所　BP:90%、TH:83%													-			
	5	新規	新：メンタル不調者の低減規（3者ワンチーム活動）	母体企業	男女	18～（上限なし）	被保険者	3	イ	メンタル不調者にかかわるデータを紐づけ、傾向を分析する	ア,イ,ケ	事業者・健保・産業保健スタッフが連携しメンタル不調者の低減にむけた会議体を実施する	未定	0	データを持ち寄り、各部門の担当者の話し合いの場を設ける。	メンタル不調者の傾向を分析するため、3者のデータを持ち寄って傾向をさぐり、メンタル不調になる前に診療所や事業主がアクションできる施策へ繋げる	メンタルヘルス不調者の低減
	計画実施率(【実績値】-　【目標値】令和6年度：100%)年1回以上													メンタル不調者の低減(【実績値】25.1%　【目標値】令和6年度：22.1%)目標：メンタル受療者の低減　前年より－3%　2023/3月末　けんこうレポートより25.1%			
	-													メンタル受療率(【実績値】12.5%　【目標値】令和6年度：12.5%)第3期データヘルス計画指標　中計項目：9．メンタルヘルスをサポート　④参照　被保険者（全年齢）			

注1) 1．職場環境の整備　2．加入者への意識づけ　3．健康診査　4．保健指導・受診勧奨　5．健康教育　6．健康相談　7．後発医薬品の使用促進　8．その他の事業

注2) 事業名の後に「*」がついている事業は共同事業を指しています。また、事業名の後に「**」がついている事業はPFS事業を指しています。

注3) 1．健保組合　2．事業主が主体で保健事業の一部としても活用　3．健保組合と事業主との共同事業

注4) ア．加入者等へのインセンティブを付与　イ．受診状況の確認（要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況）　ウ．受診状況の確認（がん検診・歯科健診の受診状況）　エ．ICTの活用　オ．専門職による健診結果の説明　カ．他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施　キ．定量的な効果検証の実施
ク．対象者の抽出（優先順位づけ、事業所の選定など）　ケ．参加の促進（選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備）　コ．健診当日の面談実施・健診受診の動線活用　サ．就業時間内も実施可（事業主と合意）　シ．保険者以外が実施したがん検診のデータを活用　ス．その他

注5) ア．事業主との連携体制の構築　イ．産業医または産業保健師との連携体制の構築　ウ．外部委託先の専門職との連携体制の構築　エ．他の保険者との健診データの連携体制の構築　オ．自治体との連携体制の構築　カ．医療機関・健診機関との連携体制の構築　キ．保険者協議会との連携体制の構築　ク．その他の団体との連携体制の構築
ケ．保険者内の専門職の活用（共同設置保健師等を含む）　コ．運営マニュアルの整備（業務フローの整理）　サ．人材確保・教育（ケースカンファレンス／ライブラリーの設置）　シ．その他